



## ボランティアの心

東日本大震災後、ボランティアのすごさを感じています。大勢の人が何かお役にたきたいという心につき動かされ、互いの思いの中で現実と一歩一歩未来を作って行く「誰かの為に何かをしたい」人間っていいなと思えました。ネパールの子ども達へもインド孤児達へも、貧しい子ども達を助けてあげたいと思っただけで下さる皆様の心で子ども達も笑顔が増えてきています。この子ども達も皆様が健康で良い教育を受け、立派な大人に成長することが私達の願いです。

皆様の御協力に感謝申し上げます。  
11月のネパール訪問は左記の日程を予定致しております。  
沢山のボランティアさんが必要です。  
ご参加頂けますよう宜しくお願い致します。

### 11月 ネパール・ボランティアの旅 日程表

- 16 (金) 羽田発・関空発とも21時30分集合
- 17 (土) 羽田発・関空発→バンコク→カトマンズ  
→ポカラ ポカラ泊
- 18 (日) エンジェル校 (生徒350名) 技術大会  
ポカラ泊
- 19 (月) エンジェル校 技術・競技 表彰式 ポカラ泊
- 20 (火) ポカラ→ドリケル校 (69名) ドリケル泊
- 21 (水) ドリケル→ゴルメスワリー校 (158名)  
カトマンズ泊
- 22 (木) ゴルメスワリー校5年生 (20名) 修学旅行引  
率・ エル・エンジェル校成績優秀生徒 (4名)  
カトマンズ観光案内 カトマンズ泊
- 23 (金) ナガルコットへ登りヒマラヤ連峰を!  
市内観光 カトマンズ泊
- 24 (土) カトマンズ→バンコク→日本 機中泊
- 25 (日) 成田着06時15分・福岡着08時

○参加お申し込み詳細は本部までお問い合わせください。

TEL 046-236-0001

奉仕は、執着の束縛から自分自身を救い悩みから自由になる。

## 緊急報告

ネパールのヒマラヤ山系では温暖化による氷河融解で多くの氷河湖が生まれ、決壊の危険性が指摘されています。このたび、15の村が大規模な洪水の被害にあい、全滅状態になり、多くの人が亡くなりました。そんな中助かった人がラマチョール(学校のある地域)の人を頼って来られ、3人の子どもの面倒をみて欲しいとの要請があり、当協会でも受け入れ教育ともども援助することにしました。

これから先もヒマラヤフライトの時見た、点々とあつた湖が決壊するのではないかとあやぶまれます。

### エル・エンジェル校 生徒への進学支援

エル・エンジェル校の生徒は10年生で終了となります。本校の生徒は成績が優秀で、ほとんどの子が進学します。成績が特別優秀の子は国のお金で無料進学出来ますが、成績が良くても家庭の事情で進学をあきらめざるをえない生徒のため、当協会はジュニアカレッジの2年間の学費を見て上げることにしています。

日本に来たハリ君もその一人です。今年も両親を亡くし、学校の3

階で寄宿していた男子生徒一人をこの春から、成績も上位で進学を強く希望しているため、学費の支援をすることに致しました。このことにより彼の将来に希望が増したことでしよう。がんばれデニッシュ・スナールくん!

## 教育の力

久しぶりにエル・エンジェル校の前に立った時、ゴミひとつ落ちていない校庭や歳月と共に風格の出した校舎を前にして、名実と共に重みのある学校になったと強く感じました。十五年前に学校建設の候補地として現地を見せて頂いたときは、断崖を背に大きな石がゴロゴロと転がっている僅かな平地に、思わず「ここに学校が」と驚きました。

その場所に建設がされ、生徒数は年々増え、二階、三階と増設が繰返され、今日は、数百人の生徒数を抱えネパールでも誇れる学校に躍進しました。

オリエンテーションで理事長の挨拶がありました。全生徒が視線を1か所に集中し姿勢を崩す事無く挨拶を聞き入っていました。以前では考えられない光景で、傍らから見ていて頼もしい限りでありました。

更に、かつては、支給された校服も汚れてよれよれのものを着用

し靴も土で汚れたものでありませんが、今日の生徒達の校服は清潔に保たれ靴も汚れの見られないものを全員が身に着け、勉学に精励している姿に感銘を受けました。これも建学精神に沿った教育活動がされている結果であると思いました。

生徒達は、医者、看護師、科学者、会計士と夢に向かって勉学に励んでいるようです。周りの人の為、国のため、ひいては世界に翔いて欲しいという建学の精神を心に更なる飛躍をしてくれることを願っております。

(K・S)



パソコンを習う子ども達

## 被災地小淵浜を訪ねて

L・エンジェルスのホームページに「被災地に支援物資を運ぶ運転手募集中」と書かれているのを知り、すぐに本部に登録をした。

4月11日午前6時海老名市を出発し、行き先は宮城県牡鹿半島の被災地と聞くのみで、詳しい情報がないまま地図でルートを探る。

震災後すぐにも救援に行こうと広島市社協のボランティアバンクに登録した。しかし申込者が多く一回40名の枠に毎回入れず、くじ運の悪さをつくづく感じたものだが、今回は行ける事に満足した。しかし多数の参加者がある中で中型バスで行く事になり、参加するかしないか迷った。

その理由として最近観光バスで多くの方が現地に入るが、被災現場をバツクに、Vサインをして写真を撮る観光客がいる。被災者の心情を逆なでしているとの新聞記事を読んで、自分達もそうした事になるのではないかと、不安になったのと車の運転が必要ないなら別に行く必要もないと考えた。理事長に遠慮したいと申し出たところ「現地にいき現状を一度見られては？」と言われた一言が気になり、妻と参加を決めた。

4月10日先生宅に前泊し翌4月11日午前6時過ぎ、理事長以下18名を乗せた中型バスは海老名を出発し宮城県石巻市小淵浜に向かう。現地に持参する物は被災地のニーズに応えた物で、エアポット・毛糸・今治タオル・バスタオル・おやつ・等々である。仮設住宅で避難生活をされている方達の癒しにと「芝桜」120鉢も持参する。

これ等の物を車で運ぶのが私の仕事であったが、多数のボランティアさんと1台のバスで参加出来るのは、かえって自分には楽な選択であった。

海老名を出て9時間、目的地小淵浜の民宿「めぐろ荘」に到着した。おり

しも強風の中で小雨が降りだし寒い。めぐろ荘周辺の瓦礫は1か所に積み上げられ整理は進んでいたが「めぐろ荘」前の民宿は2階部分はあっても一階部分は吹き抜け状態で、かろうじて柱で建っている無残な姿が残っていた。雨の中「芝桜120鉢」を植える。砂利を固めた住宅周辺に花を手植えするにも硬くて地面に穴が掘れない。「つるはしかスコップを貸して下さい」とお願いをしたが、「津波でみんな流されて何も無くなった！」の返事に言葉が出なかった。芝桜を植える際、窓からおばあちゃんが顔を出して「きれいだねー！ありがとうねー」と声かけられる。「おばあちゃん達も大変だねー」と会話しつつ雨の中花を植えた。「めぐろ荘」内では、支援物資の配布準備が手際よく行われていた。

仮設住宅の人達が三三五五に仕事から帰って立ち寄り、物資を受け取り満面の笑顔で帰って行かれる。「ありがとう！ありがとね！」と言いながら中には、物資で顔を隠す人もあり、写真に撮られるのを嫌う人もある事に気づいて撮影を止めた。めぐろ荘裏手の集落に行ってみた。

高台に建てた家は残ってはいしたが地震による被害がはつきりと分かる。潰れた家屋、基礎が崩れて傾いている家。庭の石段も崩壊している。港に行ってみた。

復旧作業は徐々に進み、土嚢で防波堤がつくられ潮の侵入を防いでいる内側では、わかめの加工が行われて

いた。懸命に作業されている被災者の姿を被写体に出来なかった。午後7時過ぎ民宿に帰りおやじさんやおかみさん達のおもてなしを受ける中、地元流しの民謡歌手が「お返し」だと、自慢の喉を披露してくれた。  
**東北は良い！歌も 人情も 風景も みんな好きだ！**

あくる日夜明けと共に理事長の判断でわかめの加工場に少しだけ応援に行く。作業は単純であるが並みの数ではない。山と積まれた「わかめ」の葉と茎一本一本手作業ではがしてゆく根気のある作業である。我々も手伝いを受け入れてくれたので皆体験できたが、この浜で暮らしてゆく人達には必要な作業であり大切な収入源でもある。震災で加工場は潰れ、機械は流され大きなダメージを受けたにもかかわらず、新しい機械が導入され今年も「新わかめ」の加工がされている。徐々に復興への足がかりがつかめている事を実感できた。時間の関係もあり民宿にて朝食後、各々「わかめ」のお土産を買い求め、9時頃「めぐろ荘」の前で記念写真を撮り帰路に着く。

バスは同じ席に座り「復路」をたどるも、「往路」で見た被災風景とは全く違い、災害の甚大さを痛切に感じながらシャッターを切る。

高台で谷合いの狭い所に仮設住宅が作られていたが、病院も買い物にも行けるような場所ではなく、どんなにか不自由な生活をされているだ

ろうかと思うと、今の自分達が贅沢な生活である事を再認識した。

石巻市内で昼食と休憩の間に周辺部を覗いて回ったが、瓦礫のほとんどは回収され一部の地域に山積みしてあった。ただ 建ったままで処理されない家があちこち点在しているのが目につく。新しい家やお店であろうか処分するにも、原状復帰をさせるにしても2重、3重のローンに苦しむことになり、決断出来ず放置されているものと推測する。現状を復帰するには計り知れない時間とお金がかかり悩みが続く事と思う。でも東北人気質できっと立ち直れると思う。すでに至る所で護岸工事や岸壁の修復が重機を使い行われていた。

仮設に住み、元の状態にまでには言わないが、せめて半分でも元の生活に戻れる事を目標に頑張っているという言葉が印象に残った「がんばってちやく牡鹿半島」のTシャツがそれを裏づける。また機会があれば応援に来ますと、自分に言い聞かせる。宮城蔵王 安達太良山 吾妻小富士の雄姿を車窓に見ながら東北道を上がり東京都内へと入る。

バスの車窓からは、高速道ならではの風景が見える。シンボルのスカイツリーも見えた。暗いイメージの宮城福島から、きらびやかなネオンの街東京とのギャップはあまりに大きかった。海老名で一晩お世話になり、明るる日広島に帰ったが、今回の旅に「参加させて頂いて良かった」

この一言に尽きる。運転のボランティアで応募したのがバス旅行になったが、理事長の言葉通り「行って観て、感じてみないと何もわからない」その言葉の意味が心から理解できた旅でした。また機会を頂ければ応援に行きます。有難うございました。

(T・I)



2011年6月



2012年4月

\*3月11日の後の破壊された街も一年後はずいぶんと片付られ、しかし、ビニールに入った残骸が沢山積みされていました。

### 旭ヶ丘中学の生徒さんが本部訪問

5月28日(月) 神奈川県寒川町立旭ヶ丘中学校の1年生12名が先生に引率されて社会体験学習として当協会本部を訪れました。

前もって、S先生が何度も本部と連絡を取ったり、打ち合わせをされて、周知の準備をしていただきました。先生の生徒や当協会に対するきめ細かな態度に教育者としてのすばらしさを感じさせていただき、ボランティア活動の話に熱が入りました。生徒達は予めエル・エンジェルの名前の意味、ボランティア活動を始めた動機、活動で何が得られたか等の質問事項を考えてきていました。当協会からネパール山間部に建設した4つの学校や村の様子などをスライドで示しながら現地の状況を説明しました。生徒達はメモを取りながら熱心に耳を傾け、貧しさゆえに女の子が売られて、死んでいく話にとっても悲しそうな表情で聞いていました。

生徒達から多くの質問があり、回答すると「有難うございました」と礼儀正しく返事をしていました。最初は生徒の皆さんは少々緊張気味でしたが終わるころには緊張もほぐれてきました。S先生が生徒達に向かって「ボランティアやってみたいですか？」と聞かれると即座に「やりたいです！」と返事が返ってきました。嬉しい一場面でした。

ネパールの子ども達が昼食時は水を飲んで空腹をしのいでいたり、山道を裸足で学校に通っている情景のひとコマでも思い出してみてください。きっと自分が今どんなに恵まれているかが分かるでしょう。当協会から「お互いに思いやりの心を大切にし、相手の喜びを自分のなかで感動できる、これがボランティアです。感動の伴う人生は充実します」と話させていただきました。

後日、旭ヶ丘中学校の校長先生から体験学習のお礼とともに生徒の皆さんから感想文をお寄せいただきました。どの生徒さんもボランティア活動に関心をもって下さり、「人の役に立ちたい」、「困っている人たちを大切に支え、助けてあげたい」、また「今回学んだことを今後の学校生活に活かしていきたい」等と嬉しい感想文でした。

今回の体験学習が彼らのこれから的人生に役立つことを願います。



スライドを見入る生徒さん達

## Sさまのおひろ

四月牡鹿半島にボランティアで訪問した折、芽カブの耳採り作業を手伝わせて頂きました。その作業の際、アームカバーがあったら腕が冷たく濡れることはないのにと思われた埼玉のSさま、帰ると早速に厚手のビニールの布でアームカバーを作り、たくさん現地に送って下さいました。現地の方から「アームカバーを沢山送って頂きありがとうございますでした。」と嬉しそうなお声でお礼の言葉を頂きました。芽カブの耳採り作業は早春のまだ寒い早朝行われます。細やかなことにまで気づかれて、すぐに実行される優しい心づかいに感謝致します。

## Mさまのおひろ

広島島のM様から「夏祭りのバザーにどうぞ」と沢山の新品の品物を送っていただきました。その中に、ネパールの子ども達のプレゼントの品も含まれており、11月、ネパール訪問の折、おおはしやぎして喜ぶ子ども達に逢えるのが楽しみです。Mさまの温かいお心に感謝です。

## 孤児院便り

### ジュニアカレッジに通う

四月から、二人の女の子、ラクシュミさんとアナシャさんがスリカラムのジュニアカレッジに合格でき、スリシャさんは同カレッジの12クラスで現在ファーストクラス（成績が上位のクラス）に在籍しており現在、三名の生徒がジュニアカレッジに通っています。

どんなにか頑張ったことか、これまでの彼女たちの境遇を思いますと奇跡にも近いことのように、彼女たちの頑張りにより孤児院支援を続けてきて本当によかった、と胸を熱くしています。「日本のお父さん、お母さんが守ってくださっているのだから、一生懸命がんばります。」と、朝早く起きて、また、夜遅くまで勉強に励んでいる上、年下の子供たちのめんどうもよく見ているそうです。

進学すると学費もかさみます。しかし勉強したい子には、進学させてあげたいこれは皆様のお気持ちかと存じます。私たちも子供たちの心に応えたく支援を続けていく所存です。

今後ともご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ラクシュミさん



アナシャさん

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしく願いいたします。

- 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル  
記号 10290 口座番号 68107191
- ゆうちょ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル  
店名 (028) 店番 (028) 普通預金 口座番号 6810719
- 三菱東京UFJ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会  
海老名支店 (409) 普通預金 口座番号 0966597

## 支える会より

### ◎『愛をつなぐ天使』

羊毛フェルトの『愛をつなぐ天使』が三種類とても可愛く、素敵に出来上がりしました。『愛をつなぐ』という大きな意味と使いが込められています。1個でも多くご賛同頂きますようご協力よろしくお願ひ致します。別紙にて詳細を記させて頂きました。ご注文は本部まで。

### ◎成瀬台夜祭りに参加

7月28日(土) 29日(日)の2日間出店しました。某商店様よりご寄付いただいたワンピースのおもちゃは1日目で売り切れてしまうほどとても人気でした。

暑い中夜遅くまで多くの方々のご協力をいただきまして2日間288,057円の売り上げがあり経費を除き、248,030円をエル・エンジェルに寄付いたしました。ありがとうございました。

### ◎町田バザーの日程

- 9月29日(土) ぼっぼ町田
  - 10月14日(日) 町田福祉園
  - 10月28日(日) 町田第五小学校
- ご協力よろしくお願ひいたします。

## 編集後記

中学生の皆様がボランティアについて、学びに来て下さいました。とても熱心な先生のお姿も見せて頂きました。ボランティアの輪が少しずつ広がります。子供達の未来が明るくなることを願います。

(T・Y)